2026年度 学校経営方針

神戸大学附属小学校

A学校教育目標
国際的視野を持ち，未来を切り拓くグローバルキャリア人としての基本的な資質の育成 ［自律］自ら進んで生活を築いていく子ども ［尊重］国際的な視野と広い心を持ち，互いを尊重し合う子ども ［創造］豊かな感性と探究的な思考力を働かせて，文化を創造していく子ども

Bめざす学校像	C育てたい力・態度		D育て方の方針	【評価項目】 F育て方の具体／重点事項等		自己評価
B1 子どもに対して，自律，尊重，創造に関わる力や態度を育む教育活動を展開することで，学校教育において，「めざす子ども像」の実現を支援する役割を担う。	自律	C1 自分の生活を自分でコントロールする力や態度 C2 みんなにとってのよりよい生活を考え，そのために自分ができることをする力や態度	D1 「小さな社会人」として，信頼されるふるまい方を知ったり，考えさせる。	F1	いじめを未然に防止する取り組みのさらなる充実図るために，教えることと考えることを明確にした生徒指導を行うことができたか。	
	尊重	C3 他者とは異なる自分の文化や考えを大切にしようとする力や態度 C4 自分とは異なる他者の文化や考えを楽しみ，大切にしようとする力や態度 C5 自他の存在や行動を価値付けることができる力や態度	D2 自分を表現する経験とともに，自分とは異なる文化や考え方の良さを感じる経験を豊富に設定する。	F2	学年担任制，授業サポーター制の創造的な運営等によって，教師の指導性を適切に発揮し，日々の学習において，主体的・対話的で深い学びを実現することができたか。	
				F3	リーダーズキャンプの実施によって，異年齢集団での学習を主軸にした特別活動を充実させることができたか。	
	創造	C6 前例，他者等に依存せず，自分の置かれた状況において，工夫してよりよいものを作り出そうとする力や態度 C7 他者と質の高い合意形成をする力や態度	D3 合意形成を図る過程でその「難しさ」と「大切さ」を感じる経験を豊富に設定する。 D4 子どもの感性を刺激する知的な教育活動の提供する。	F4	大学との連携・共同研究，並びに大学附属間の交流を通して，知的好奇心を喚起することができたか。	
B2 保護者に対して，子どもに自律，尊重，創造に関わる力や態度を育むための情報発信・交流の機能を果たすことで，家庭教育において，「めざす子ども像」の実現を支援する保護者をサポートし，導く役割を担う。				(B2)	保護者に対して，子どもに自律，尊重，創造に関わる力や態度を育むための情報発信・交流の機能を果たすことで，家庭教育において，「めざす子ども像」の実現を支援する保護者をサポートし，導く役割を担うことができたか。	
B3 教育界（学会や他学校園等）に対して，大学との連携による学術的な知見と，現場における実践的な知見とを融合した研究成果を発信することで，実践的研究の中核拠点としての役割を担い，教育の質的向上に寄与する。				(B3)	本校の研究成果・特徴ある取組を外部発信することができたか。 大学の教育実習計画に基づく教育実習を実施することで，学生の学びを保障することができたか。	

学校関係者評価	次年度に向けて